

# 第59回全国社会人サッカー選手権大会中国地域予選会

## 競技上の留意事項

- 1 各チームは、試合開始90分前までに、競技場に到着することとし、到着後、その旨を大会本部役員に連絡すること。  
その際、出場初日に、大会プログラム、メンバー提出用紙・交代カード（各試合分）を受け取り、マッチコーディネーションミーティングの場所を確認すること。
- 2 試合開始70分前に、両チーム監督（監督に事故があるときは、当該試合において直接チームを指揮する責任者）、主審、マッチコミッショナー、運営責任者の出席により、約10分間のマッチコーディネーションミーティングを開催する。  
チームの監督はメンバー表（チーム用1部・相手チーム用1部・本部用2部の計4部）、選手証（電子登録証を出力した用紙）、フィールドプレイヤー及びゴールキーパーのユニフォーム（（公財）日本サッカー協会の「ユニフォーム規程」に基づいた、参加申込書に記載した正副2組のシャツ・ショーツ及びソックス）を持参すること。
- 3 競技者は、キックオフ7分前に本部前に集合して審判員に用具の点検を受ける。
- 4 競技者が負傷して主審が競技を停止した場合、主審の承認を得てからチームの医療担当者を含むチーム役員2名以内がフィールドに入ることができる。その医療担当者は、負傷の程度を判断することと、競技者の安全を確保して迅速にフィールドから退出させるために入るのので、フィールド内の治療は認められない。ただし、ゴールキーパーの場合は、フィールド内での治療が認められる。その他、相手競技者が警告される、または、退場を命じられるような身体的反則（例えば、無謀な、または、著しく不正なファウルとなるチャレンジ）の結果として競技者が負傷したが、負傷の程度の判断と治療がすばやく完了できるときは、フィールド内での治療が認められる。
- 5 交代要員のウォーミングアップは、競技場ごとに指定された場所にてフィールド上の競技者と異なる色の服装で、原則としてボールを使用しないで行う。
- 6 PK方式が行われる場合は、競技者は自分のベンチ前のフィールド内で監督の指示を受けることができる。
- 7 ベンチに入ることが出来るのは、試合開始前に氏名の届けられた役員最大6名、交代要員最大7名に限られる。交代要員は試合中の選手のユニフォームと異なる色のビブスを着用すること。
- 8 本大会にはテクニカルエリアを設ける。その都度1人の役員のみが選手へ戦術的指示を与えることができる。テクニカルエリア内では、責任ある態度で行動をすること。
- 9 PK方式により次試合開始が予定より遅れる場合は、本部の指示に従うこと。

## 【運営上の注意事項】

- 1 各会場でのアップ場所・開始時間等（ピッチ内練習含む）は、当日、会場責任者に確認し指示に従うこと。また、会場によってはスパイクの使用が禁止の場所もあるので、必ずアップシューズを持参すること。
- 2 各会場での練習場所（ウォーミングアップなど）については、会場責任者の指示に従うこと
- 3 更衣室・シャワー等は使用については会場責任者の指示に従うこと。
- 4 チームサポーター（観戦者）については、各チームの管理とする。なお、観戦場所や観戦方法等については、会場責任者の指示に従うこと。
- 5 ビデオ撮影について
  - 別添：『撮影許可申請書』を事前に作成し、申請・手続きをお願いします。
  - 撮影前に、大会本部まで申し出てください。
- 6 取材について
  - 別添：『中国社会人サッカー連盟主催大会 取材要項』に従い、必要に応じ申請・手続きをお願いします。
  - 来場の際は、大会本部まで申し出てください。
- 7 その他、詳細については会場責任者の指示に従うこと。